

一般社団法人認知症の人が住みやすい世界をつくる

SDGsの取組

取組・活動内容	<p>当法人は、知識や情報発信についてはできる限り費用負担は少なくする中で、現場実践できる研修会を全国拠点支部で展開をしていき、最前線で介護にあたる方々に、対応の仕方を学び介護に関するやりがいと誇りをもっていただき、より長く多くの方が介護に関心をもっていただきます。その結果、介護人材不足解消や離職率低下にもつながればとおもっております。また、介護従事者以外の民間企業にも認知症の理解をしていただくとともに、当法人が開催する講習会自体がSDGs(持続可能な開発目標)を実施開催することで民間企業としてできる、認知症の方に対してどう接すればよいのか、認知症にならないようにするにはどうすればよいのか等、ただ漠然とした不安を具体的な安心に変えていき、わが日本の住みやすい世界をつくるために何ができるかを一緒に考えていくことが重要と考えています。</p>		
	目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済 8	職員の生産性向上（質の向上）	認知症の知識向上のため、従業員向けの内部講習を年4回開催する
	社会 3.4.5	講演会・研修会開催により認知症介護の啓発につなげる	年間講演会10回以上、研修会20回以上の開催をする
環境 11	無駄な資源の削減	紙による資料等の削減。オンラインによる申し込みや研修を年10回以上開催	